

西田幾多郎の

就

企画展

活

まず何かにて出京いたし
その後は又どうにかなるならんかと考へ候

明治四十(一九〇七)年六月二十二日 幾多郎から藤岡作太郎宛書簡(金沢・四高教授時代、とにかく東京へ出たいと相談)



明治時代末の東京新橋より銀座を望む風景



東京へ出たいと就活していた四高教授時代、明治39(1906)年36才頃(幾多郎後列中央。前列右が幾多郎出京願望の一因となっていた吉村寅太郎校長。)

2019
3/26_火 - 9/23_日

【関連講座】

5/18_日 13:30 ~ 15:30

娘の死と『国文学史講話』
西田幾多郎と藤岡作太郎の交友

講 師：上田 正行 (徳田秋聲記念館館長、室生犀星記念館館長)
参加費：500円、申込不要 *西田幾多郎哲学講座年間受講生は無料

西田幾多郎の親友・藤岡作太郎(国文学者)。学生時代から成績優秀で早くに東大助教授となっていた作太郎を頼り、幾多郎は度々就職の相談をしています。ともに娘を亡くした経験ももつ、幾多郎と作太郎の交友についてお話しいたします。

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

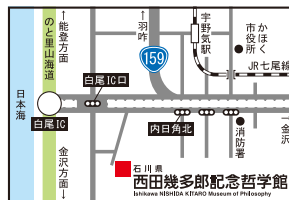
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



facebook はじめました。イベント関連情報も随時更新中です。

観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:30 (入室は 17:00 まで)
休 館 日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月29日 ~ 1月3日)
観 覧 料 ■ 一般300円 / 高齢者 (65歳以上) 200円 / 高校生以下無料

交通アクセス
【車 利用】北陸自動車道 [金沢東IC] - 国道159号線 (約20分)
のと里山海道 [白尾IC] - (約5分)
【JR 利用】金沢駅 - IRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分) - 宇野気駅 -
徒歩 (約20分) - 哲学館



就活

企画展

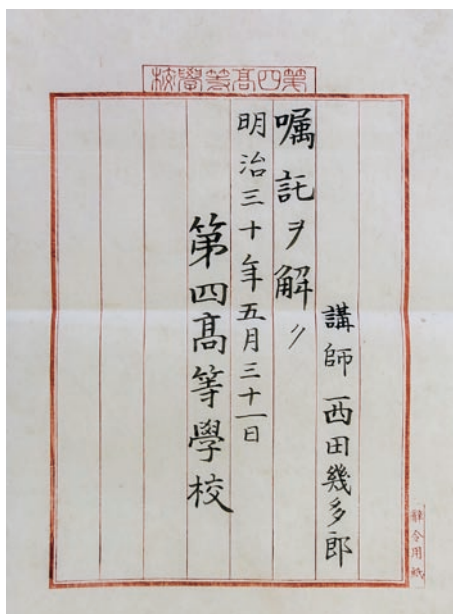
西田幾多郎の



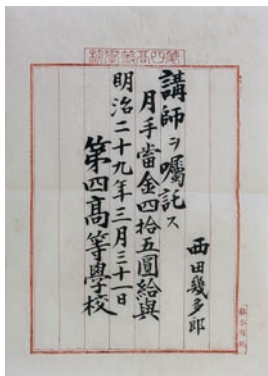
2019 **3/26** 四 ▶ **9/23** 日



四高嘱託講師を解職されたの送別会
明治30(1897)年6月
(幾多郎27才、前列右より3人目。
左隣は共に解職された同僚・得能文)



四高嘱託講師解職辞令
明治30(1897)年5月31日



四高嘱託講師勤務辞令
明治29(1896)年3月31日

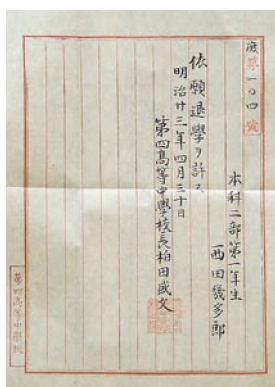
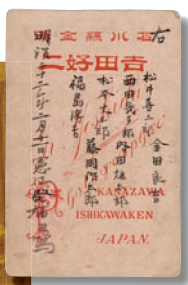
日本を代表する哲学者・西田幾多郎(一八七〇—一九四五)。実は三十九歳で学習院へ赴任するまで、自身が納得する職には恵まれません。就職活動を続ける半生でした。最初の職は決まりかけていたところを別の人に奪われ、やっと就職できた能登の中学分校は火災で焼失、次の職は学内の内紛に巻き込まれ突然の解雇。次々と身に起こる出来事に振り回されながらも、幾多郎はその都度奮起してさらなる向上を目指します。教える場所は中学、高校、大学へと移り変わり、最初は語学(ドイツ語・英語)教師ばかりでしたが、最終的には希望する「哲学」を研究し教える立場になっていきました。時には弱気になりながらも、友人や恩師に助けられ職を転々とする日々。大哲学者にもあった、苦難の就活時代を紹介します。

西田幾多郎履歴

- 一八五五年 (二十五歳) 石川県尋常中学校七尾分校・分校主任
 - 一八六六年 (三十六歳) 第四高等学校・嘱託講師
 - 一八七七年 (二十七歳) 第四高等学校・嘱託講師解職
 - 一八七七年 (二十七歳) 山口高等学校・嘱託教務
 - 一八九九年 (二十九歳) 山口高等学校・教授
 - 一九〇九年 (三十九歳) 第四高等学校・教授
 - 一九一〇年 (四十歳) 学習院・教授
 - 一九一三年 (四十三歳) 京都帝国大学文科大学・助教
 - 一九二八年 (五十八歳) 京都帝国大学文科大学・教授
- ※所属先以外での講師職は省略



学生時代、明治憲法発布の日に仲間と「頂天立地自由人」という言葉を掲げて。
明治22(1889)年2月11日(幾多郎後列右より2人目)



第四高等中学校依願退学の許可文書
明治23(1890)年4月30日



フルーツサンド ■ 2階・喫茶テオリアにて

就活に励んでいた時代、幾多郎は間食にパンや菓子を食べしてしまうのをやめられず、日記の中でたびたび自分を戒めています。「パン」と「果物」が好物だった幾多郎にちなみ、企画展期間限定・特製フルーツサンドが登場！きつと幾多郎も喜ぶ一品です。※季節によって果物が変わります。